

4年毎の国防計画の見直し(2010QDR)(概要)(1)

(Quadrennial Defense Review)(2010年2月1日公表)



「2010QDR」の構成

- 1 序文(Preface)
- 2 要約(Executive summary)
- 3 序論(Introduction)
- 4 国防戦略(Defense strategy)
- 5 戦力のバランスの修正(Rebalancing the force)
- 6 兵士のケア(Taking care of our people)
- 7 関係の強化(Strengthening Relationships)
- 8 業務改革(Reforming How we do business)
- 9 国防危機管理枠組み(A defense risk management framework)
- 10 結語:今後へ(Conclusion:The way ahead)

1 安全保障環境

- 8年以上続くアフガニスタン及びイラクにおける戦争
- 中印の台頭、非国家主体の影響力増大、大量破壊兵器(WMD)の拡散等により、**安全保障環境はより複雑、不確実**に→紛争が様々な性格を有する**ハイブリッド**なものに
- **米国は最も強力な主体**であり続けるが、平和と安定を維持するためには**同盟国及びパートナー国との一層の協力**が必要
- **国際公共財(グローバル・コモンズ:海、空、宇宙、サイバー空間)**への侵害、アクセス拒否を行う国家の存在
- **脆弱国家**は過激主義や急進主義の温床となるおそれ

2 戦略的優先事項

- **現在の戦争における勝利(Prevail)**
- **紛争の予防(Prevent)と抑止**
- **敵の打破及び多岐にわたる緊急事態での成功に向けた備え(Prepare)**
- **全志願兵制の維持(Preserve)と強化**

3 戦力強化が必要な任務領域

- **米国の防衛及び国内における非軍事部門の支援**
⇒不測事態対処部隊、放射能・核物資探知能力、対簡易爆弾(IED)能力強化等
- **反乱鎮圧作戦、安定化作戦、対テロ戦での成功**
⇒情報・監視・偵察(ISR)用の有人・無人の飛行システム、特殊部隊のアセット等
- **パートナー国家の治安能力の構築**
⇒治安部隊支援能力、語学能力、地域及び文化に関する知識等
- **アクセス拒否環境下における攻撃の抑止・打破**
⇒統合空海戦闘構想(エアシーバトル)、長距離攻撃能力、前方展開態勢、C4ISR能力等
- **大量破壊兵器(WMD)の拡散阻止・対抗**
⇒WMD除去にあたる統合任務部隊司令部、脆弱な核物資の防護、新しい検証技術等
- **サイバー空間における効果的な作戦**
⇒包括的なアプローチ、サイバー活動の指令機能の集中化、他機関・外国政府との協力等

4年毎の国防計画の見直し(2010QDR)(概要)(2)

(Quadrennial Defense Review)(2010年2月1日公表)

4 戦力のバランスの修正(※)

- 本土防衛から非軍事部門への支援、現在もしくは将来の戦争に至る、多岐にわたる作戦を実施する能力を保有
- 2つの主権国家による攻撃への対処能力を保持
- 特殊部隊や無人機等を強化する一方、不要な調達中止・削減(F-22戦闘機等)

5 他国との関係

- 同盟国、友好国との関係重視、協力的かつ状況に応じた防衛態勢
- 将来の防衛態勢を決定する際、前方配置及びローテーション展開される米軍部隊が引き続き有効かつ必要であること、国外における恒久的プレゼンスの必要性和緊急事態等に対応する柔軟な能力の必要性をバランスすること等を考慮
- 中国の国際社会における役割の拡大は歓迎、軍事力増強や不透明性を懸念、米中関係には信頼関係を強化し誤解を減らすプロセス、不一致について議論する開かれたコミュニケーション・チャンネルが必要
- 北朝鮮・イランは新しい弾道ミサイルシステムを開発・配備、前方展開された米軍部隊の安全を脅かすおそれ
- ロシアと多くの利害を共有、START I 後継条約等で協力、ロシアからの地对空ミサイルの拡散は脅威
- アジア・太平洋では、日本・韓国への拡大抑止を含め地域安定のため必要となる米軍のプレゼンスを適応。在日米軍の長期的なプレゼンスを保証し、グアムを地域における安全保障に係る活動のハブにする二国間の再編ロードマップ合意の実施に向けて、日本とともに引き続き取り組む



記者会見するゲーツ長官とマレン統合参謀本部議長(1日、国防省)

※ 2010年QDRの戦力構成について

- 現在の弾道ミサイル防衛システム、戦略核兵器についてはそれぞれ「弾道ミサイル防衛見直し(BMDR)」、「核態勢見直し(NPR)」で規定されるため、今回のQDRでは言及無し。
- 現在戦っている戦争と将来に対する備えの「バランス」を唱えた「2008年国家防衛戦略」が今回のQDRの戦略的基礎。
- 喫緊ではない兵器調達プログラムの中止等を求めた10年度国防予算の方針を踏襲。

6 その他

- 負傷した兵士のケアの重視、持続可能な派遣テンポ、家族への支援
- 他国の治安能力向上のための支援を重視
- 調達改革、産業基盤の強化
- 気候変動やエネルギー問題に対する戦略を発展